

○水生生物モニタリング調査結果一覧（富岡川○）

＜富岡川0 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
○－1	○	○	○	○	○	○
○－2	○	○	○	－	○	－

＜富岡川0 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
○－1	37.3547°	140.9780°	R6.12.8	12:30	12:30	8.8	8.1	砂泥	7.5Y5/3	植物片	0.57	>50
○－2	37.3624°	140.9612°		14:30	14:30	7.6	7.3	砂	7.5Y6/3	なし	0.35	>50

＜富岡川0 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD （mg/L）	COD （mg/L）	D0 （mg/L）	電気伝導率 （mS/m）	塩分	TOC （mg/L）	SS （mg/L）	濁度 （度）	Cs-134 （Bq/L）	Cs-137 （Bq/L）	Sr-90 （Bq/L）
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
○－1	37.3547°	140.9780°	R6.12.8	12:30	7.5	0.6	1.6	12.2	9.5	0.05	0.8	1	0.7	N.D.（0.0017）	0.0080	0.0011
○－2	37.3624°	140.9612°		14:30	7.6	0.8	1.6	12.2	8.9	0.05	0.7	3	0.7	N.D.（0.0014）	0.013	－

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜富岡川0 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} （mV）	含水率 （％）	IL （％）	TOC （mg/g-dry）	土粒子の密度 （g/cm ³ ）	粒度組成								Cs-134 （Bq/kg-dry）	Cs-137 （Bq/kg-dry）	Sr-90 （Bq/kg-dry）
	緯度	経度	日	時刻							礫 （2～75mm） （％）	粗砂 （0.85～2mm） （％）	中砂 （0.25～0.85mm） （％）	細砂 （0.075～0.25mm） （％）	シルト （0.005～0.075mm） （％）	粘土 （0.005mm未満） （％）	中央粒径 （mm）	最大粒径 （mm）			
○－1	37.3547°	140.9780°	R6.12.8	12:30	7.3	450	59.7	10.5	48.0	2.480	11.4	28.9	12.6	7.1	26.1	13.9	0.36	4.8	20	1300	0.42
○－2	37.3624°	140.9612°		14:30	7.6	472	22.3	2.3	3.2	2.710	17.9	15.2	41.3	17.1	3.7	4.8	0.49	9.5	6.4	510	－

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜富岡川0 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 （kg-wet）	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 （Bq/kg-wet）
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
0-1	富岡川本流	37.3547°	140.9780°	R6.12.8	藻類・植物	－	－	－	－	河床付着物（藻類を含む）	－	0.015	－	－	－	530	N.D.（14）	530	－
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	260	0.063	幼虫	－	－	140	N.D.（4.4）	140	－
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Macrobrachium japonicum</i>	ヒラテテナガエビ	1	0.0093	未成体	－	－	10	N.D.（3.1）	10	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	0.083	未成魚	－	－	26	N.D.（3.1）	26	－
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.029	未成魚	－	－	6.8	N.D.（1.6）	6.8	－
					粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.23	－	－	－	81	N.D.（2.5）	81	－
0-2	富岡川本流	37.3624°	140.9612°	R6.12.8	藻類・植物	－	－	－	－	河床付着物（藻類を含む）	－	0.022	－	－	－	618.9	8.9	610	－
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	276	0.026	幼虫	－	－	7.0	N.D.（1.4）	7.0	－
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ									
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	49	0.27	未成魚	－	－	20	N.D.（1.2）	20	－
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	11	0.15	未成魚	－	－	29	N.D.（1.5）	29	－
					粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.23	－	－	－	45	N.D.（1.5）	45	－

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。